

新型コロナウイルス感染予防 安全対策に関する

「JPBAプロボウリングトーナメント」出場選手への注意事項

※アマチュア選手の方もご一読いただき、下記事項をお守りください

1. 「JPBA競技会 新型コロナウイルス感染症対策特別規定」を熟読すること（※プロボウラー）
2. 「プロボウリングトーナメント（JPBA 競技会）新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を熟読すること
※JPBAホームページにも掲載しています



※ 風邪の症状や37.5℃以上の熱がある者、体調に不安のある者、同居家族や身近な知人に感染が疑われている方が居る者、過去14日以内に入国した者及び当該在住者との濃厚接触がある者、その他感染可能性の症状がある者等は、出場できません。

● トーナメント出場に際し、各自準備する物

- 大会2週間前から【**体温記録・行動記録チェック用紙**】の記入
※記録用紙は大会要項と一緒に送付 ⇒ **大会前日受付に提出** または
【体温記録・行動記録チェック入力フォーム】から ⇒ **毎日送信** してください
(毎朝の体温測定と諸症状(咳、たん、鼻水、呼吸困難)などのチェック、及び行動記録を記入)
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)インストールの推奨**
出場プロは、大会2週間前からアプリをインストールし感染拡大の防止につとめること
- 自分専用の体温計** を用意(大会期間中も起床時など体温チェックを各自行う)
- マスク 複数枚持参**(会場入場時、選手受付時、着替え時、準備運動時、競技スタート前のボウラーズベンチ内、その他競技中以外は着用)
※マスク以外に、競技中はマウスシールド使用も可とする(人数によってはNGの場合もある)
- 筆記用具(黒のボールペン)**
※筆記用具に関しては、JPBAでボールペン及び鉛筆(クリップペンシル(ミニ鉛筆))を用意しているが、原則各自用意すること
- ビニール袋**(鼻水・唾液などが付いたゴミや使用済みのマスク・テープ類は、ビニール袋に入れて密閉しゴミ箱に捨てる ※ビニール袋を各自用意)

※大会当日、受付時に【**健康問診票**】をお渡ししますので、記入のうえ選手受付時間内に提出してください。

※大会当日、受付時に大会終了後2週間の【**体温記録・行動記録チェック用紙**】を配布しますので必ず記入し各自保管してください。(1ヶ月間保管)

●トーナメント出場に関する会場内での注意事項

1. 入場時・選手受付時

- 会場への入場時及び退場時は、必ず手指消毒を行う
- 3密を避けるため、入退場時のユニフォーム姿を認める
- 入場時・選手受付時・控室等、競技中以外はマスク着用を義務づける
※マスクを着用していない者の入場は認めない
- 受付スタッフも、フェイスガード・マスクを着用する
- 会場内では、大声を出さない（マスク着用での日常会話程度は可）
- 選手受付は、間隔を空け一方通行にて実施する（順番待ちの目印推奨）
- 控室では、3密を避け出来るだけ2 m以上(最低1 m)空ける
また、一度に休憩する人数を制限し対面で会話をしない
- 当面の間、レーン抽選は事前にトーナメント委員(競技委員)が代理で抽選を行います
~~※大会前日に集合時間（PCR検査等で全員集合・受付実施）がある場合がありますので、~~
大会要項にて必ず確認してください。~~集合時間に遅刻した場合ペナルティの対象となります~~
- 選手受付での配布資料（パンフレット・領収証・お礼状・選手証・問診票・資料等）は、
テーブル上から各自持って行く。または1名分セットにしてから一人一人渡す
- 控室・更衣室・ボール置き場等は密集を回避し、密集が回避できない場合はそのキャパシ
ティに応じ、人数制限や距離を保って交代で使用する ※貴重品は必ず自分で管理すること
~~⇒会場によって選手控室等が手狭な場合、特別措置としてボウラーズベンチ内で昼食可と~~
する場合があります
- 選手ミーティングについて
 - ・会場によりソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）が保てない場合は、
マイク放送または注意事項を配布し対応する
 - ・ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）が保てる場合や大会最終日など選手
数が少ない場合は、控室等で行う場合もあるが、時間短縮にて実施
- 競技前の準備運動・ストレッチなどは、人との距離（最低1 m(できれば2 m))を確保して
個人で行う。2人組や複数での動作は行わない

2. ボール登録・検量時

- マスク着用にて作業を行う
- 受付スタッフも、フェイスガード・マスクを着用する
- 間隔を空け、出来るだけ2 m以上(最低1 m)空ける

- ボールチェックリスト・検量証は、マイボールペンか指定されたボールペン（事務局用意）にて記入（登録時のカードチェックは現行通り、検量証控えはスキャン等対応も検討）
- ボール登録・検量時の金銭授受について
 - ・ キャッシュレス決済など電子的な受付の一層の普及・促進を図る
 - ・ 検量証の購入やボール登録料の現金授受等は、事前に両替・小銭等を用意する
 - ・ 手から手への直接的な授受を避け、コイントレーでの現金受渡を励行
 - ・ i p a dによるボール登録の除菌対策

3. 競技中

- アプローチ上整列（間を空けて前後2列等）や練習ボールスタート前までは、マスクを着用
- 競技中のマスク着用について
 - ・ 4名打ちまでの場合、練習ボールおよび競技中については、マスクの着用は自由とする
 - ※但し、自治体や会場センターの「ガイドライン」により着用依頼があった場合は、競技中もマスク着用を義務づける
 - ※TV決勝・TV(カメラ)収録レーン、表彰式などマスク着用が禁止の場合もある
 - ・ 5名打ち以上の場合、マスク着用を義務づける。但し、無観客でコンコースも使用可能な場合は着用しなくても良い場合がある（今大会は義務づける）
 - ※なお、競技中以外はマスク着用を義務づける
- 競技スタート前の挨拶、競技中の選手紹介では、握手をしない
- ボール拭きタオルは、各自で用意・使用する。※会場センターのタオルは使用しない
- スコアカードに記入する際は、自分の鉛筆及びペンを用意・使用する
 - ※J P B A側で鉛筆を用意し、使用後回収して消毒を行う場合もある
- スコア修正、ゲーム移動・ゲーム終了等の作業、コンソールモニター・タッチパネル、リセットボタン・トラブルボタン等の作業は、大会毎に定める
- 飛沫対策として大声を出す行為は控える
- 同伴競技者や他選手の用具には触れない
- ファンサービスについては、当面の間、握手やハイタッチ、サインサービス、プレゼント等の受け渡しは禁止（事前に告知）。またギャラリーとの並んだ写真撮影については、距離をとるかアクリル板を間に挟んだ場合のみ可とする
- 競技終了後は必ず手洗いを行い、ゴミは必ず自分で処分すること
- A・Bシフトにて開催の場合、無観客開催及び観客を入れた場合も、原則他のシフトの観戦は出来ない
- 競技終了・成績発表終了後、特別な事由が無い場合は、速やかに会場から退出すること

4. 開会式・表彰式、マスコミ対応

- 開会式は、当面の間、簡略・簡素化する（基本マスク着用にて参加）
- マイクはなるべく複数使用
- 国歌斉唱・独唱は行わず、国歌吹奏を行う
- 開会式・表彰式では、選手同士の握手は行わない
- 表彰時の写真撮影は、約1m（最低）は空ける
- 表彰式においては、選手のマスク着用は自由とするが感染予防対策が確保されれば禁止の場合もある
- 表彰式でのプレゼンターは、フェイスシールドまたはマスクガードまたはマスクを着用して贈呈を行う場合もある
- オフィシャルカメラマン及び実行委員会が認めたカメラマン以外の記念撮影は禁止する
- マスコミ取材は、事前に取材申請書を提出し許可された者のみ取材可とし、当面の間各社2名までとする
- マスコミ取材（囲み取材含む）は、原則電話取材・オンライン取材をお願いするが、状況により感染予防対策を十分にとって現地で行う場合もある。
- テレビインタビューは、対面を避け、距離を空ける。マイクは複数にて対応

5. 無観客でのファンサービスについて

- 無観客開催の場合、BGMや効果音を入れて進行する場合がある
- オンライン配信の場合、競技中（移動時など）にインタビューの協力をお願いする場合がある

6. その他

- 会場内は法令を遵守した空調設備による常時換気またはこまめな換気を実施。乾燥する場面では、湿度40%以上を目安に加湿することを推奨する
- 共用する物品（テーブル・いす等）の定期的な消毒
- 会場への移動時の際も、マスクを着用すること
- タクシーや宅配便を利用する際、営業所や運転手・担当者を把握しておくこと
- 会場内及び会場外でも対面の会話及び食事は控え、飲食等による感染防止の徹底に努める
- ホテル等宿泊の場合は、可能な限りシングルルームを手配し利用する
- 夜の繁華街（接待を伴う飲食店）への立ち入りは、当面の間禁止とする

以上